

分科会報告

仮説会館&板倉研究室分科会「グラフで考える経済」

大阪 橋本淳治

初日と最終日の午前中に、それぞれ体験講座形式で発表しました。参加者はどちらも 30 人前後で、感想文からみた評価は、おおむね良好でした。

- ・経済にもこんなにハッキリとした法則性があるとは、思わなかった。対数グラフで見るとよくわかる。
- ・対数とか対数グラフに苦手意識をもっていたが、今回はほとんど気にならなかった。

といった感想文がいくつもありません。

その一方、

- ・進行スピードが速くてついていけなかった。
- ・グラフのどこを見ればよいのか、わからなかった。字が小さい。
- ・「オマケ（の問題）」とあるが、おまけではなく重要な「問題」なのではないか。

といった意見が出ました。中でも「オマケ」という表記・表現については、どちらの発表でも話題となり、思った以上にみなさんが気にされているということを知りました。

参加して下さった皆さん、協賛して下さった実行委員会の皆さん、ありがとうございました。

分科会報告

授業書案〈自動車と歴史〉

横山 尚幸（栄光学園中高等学校）

授業書案〈自動車と歴史〉を、二日目の午後と三日目の午前中の 2 コマを使って 2 回発表しました。来てくださる方がいるのか不安でしたが、二日目は 10 人ちょっと、三日目は 4 人の方が参加して下さいました。

違和感を覚える箇所の指摘や修正意見もいただきましたし、うれしい感想ばかりでした。分科会に参加されたみなさま、ありがとうございました。直せるところは直して、そろそろ卒業したいと思います。

感想文を紹介します。

増田伸夫さん（7/28）

p.28 のグラフに中国での現地生産台数のグラフを加えてほしい。

（問題5）に違和感を感じた。それまでアメリカの生産台数の話が続いていたのに、急に日本の生産台数の問題になって何をもとにどう考えていいのか、わからなかった。

〈日本で自動車生産がいつ始まって、（ ）年ごろには（ ）台であった〉ということを書いておいてほしい。それに「ア. 20年後くらい（1950年ごろ）」は戦後すぐでどうてい考えられない選択肢なので、直してほしい。アメリカでの生産台数の増加するグラフをもとに考えられるような問題にしてほしいと思いました。

とても楽しめました。「需要」から経済を見たら、バブルも出てくるかも知れないと思います。

また、牧さんは〈お金も商品なのです〉と言っていました。需要という観点からみたらお金という商品について考えていけば、バブルも出てくるような気がしたのですが、どうでしょう。

授業書案〈自動車と歴史〉は、『仮説会館&板倉研究室 研究紀要』に収録され、大会参加者全員に配布されました。収録にあたっては、迷う私の背中を押して下さった小林光子さん、黒田礼子さん、岸勇司さんに、実務では平野孝典さんに、それぞれお世話になりました。お礼を申し上げます。細かく指摘して下さいました根本巖さんにも感謝します。お世話になった大会スタッフのみなさん、素晴らしい会をありがとうございました。

2016.7.30. 大会の翌日に。